



大城子ども園幼児部のおともだち



## 第97号

### 主な内容

一般質問(3名).....	2~4
可決された議案など .....	5
全ての決算を認定 .....	6
子ども議会 .....	7~8

### 町の人口

平成19年10月1日現在	
男	3,583人
女	3,762人
計	7,345人
世帯数	3,126戸

発行 平成19年10月25日 鹿児島県和泊町議会  
 編集 議会報編集委員会  
 〒891-9192 鹿児島県大島郡和泊町和泊10番地  
 TEL (0997) 92 - 2569



- 町政のここが聞きたい -



# 一般質問

## 平成19年（9月）第3回議会定例会

（この質問と答弁は質問した議員が簡潔にまとめたものです）

### 災害時の応急対策について



奥 村藏 議員

#### 質問

台風常襲地域にある本町のサンサンテレビは、台風の襲来毎にケーブルの断線等トラブルが発生している。その復旧には、現在の少人数では限界があり、民間業者との連携も不可欠であると思うが、施設の保守管理体制も含めて、どのような対策がなされているか。

#### 答弁

サンサンテレビの保守点検は、電気技術者資格を持った担当職員を配置し、日頃から故障箇所の補修や新規設置などに対応している。台風襲来後の復旧対策は、企画課及び他の課の職員、又高所作業車を持っている町内三事業者から応援を頂き復旧作業に努めている。



「SSTVケーブルの補修作業」

#### 質問

防災行政無線は、文字通り災害の未然防止に威力を発揮するものであるが、現在及び将来に向けての運用体制、保守管理はどのようなになっているか。

#### 答弁

防災行政無線は、開設後28年を経過し、老朽化や自然災害等により、故障が続いている状況にある。機器の補修にも部品が製造中止になっていることから、修理に長期間を要し、町民に不便や迷惑をかけている。保守管理については企画課

職員はもちろんのこと町内電気業者にも点検と修理をお願いしている。早期の更新を期して、危機管理面や財政的な面も含めて「和泊町地域情報化推進検討委員会」の中で、検討してきたところであり、総務省の事業で、デジタル化も含めて、新規更新に向けて取り組んでいきたいと考えている。



更新期にある防災行政無線

#### 質問

送電施設の増強及び電力会社の努力により、台風による停電は以前より件数、時間ともに短縮されているが完全ではない。電力が復旧しテレビ等からの情報入手が可能になるまでの間、広報車などによる広報活動はできないか。

か。

答弁 台風4号のときにも防災行政無線の故障が発生し、一時台風情報が流れない状況になった。その対策として、消防団や各字区長と連携し、広報車による台風情報と台風対策を啓発した。風雨の強い時には、二次災害の恐れもあることから、風の状況を勘案しながら今後も取り組んでいきたいと考えている。



### フラワー都市交流連絡協議会について 排水溝対策について



国分四男子 議員

**質問** フラワー都市交流連絡協議会について。

フラワー都市交流連絡協議会総会について観光協会、商工会、花のまち和泊を創る会及び各団体との連携は図られているか。

**答弁** 来年度開催されるフラワー都市交流連絡協議会総会に向け、これまで3回の実行委員会が開催され、その中で、町の取り組みとして花木の育苗や百合球根の手配、公園や集落を中心とした路傍植栽の実施、また各団体では、それぞれにおいて、花づくりを実践していただくよう協議

がなされてきた。総会に向けては、フラワー都市交流実行委員会を組織し、町内団体を網羅した総務部、宿泊部、観光案内部、接待部、環境整備部の各専門部を設け、総会に向けた取り組みを行うこととしている。

**集落、町民への啓発はなされているか。**

**答弁** 集落や町民への花づくりへの取り組みについては、集落における花と緑の普及活動の中心的な推進役として、字推進員を依頼してある。また、度ある毎に区長会を



植栽がなされた谷山字内の道路

通じて啓発を行っている。今後とも継続して推進するとともに、サンサンテレビ等も利用してさらに花と緑の町づくりの推進に努めていく。

**交流事業を通じた本町のメリットはどうか。**

**答弁** 花と緑で町を彩ることにより、潤いのある景観づくりや地域、世代間の交流の場、地域のコミュニケーションの他、花にはリラクセス、精神安定、ストレス、心身の疲労回復、明るい気分にする等、心身を癒す効果があるといわれている。

**フラワー都市交流は、花づくりを通して町民の住みよい街づくり、もう一度訪ねてみたい街づくりであることを認識する等、花づくりに取り組むきっかけになっている。**

**質問** 沖永良部空港滑走路南側から延びる排水溝の流末が、海岸の断崖上部に設置されているが、地形、設置箇所等の問題から、台風時の高波や排水溝から流出した水が強

風にあおられることにより、排水溝付近の岩石や土砂が崩落して大変危険な状況である。このような状態が続くと、海へ続く道路も侵食され通行不能となることが予想される。侵食防止及び安全対策は講じられないか。

**答弁** 指摘の箇所は滑走路拡張工事で、滑走路南側に建設した沈砂池の流末で、通称黒瀬海岸に流れている。侵食を防ぐ為、県沖永良部事務所において、県単空港整備事業で19年度に予算要求に向けた事務を進めている。また、安全対策として、海

### 農業振興及び年金問題について



谷山健一郎 議員

**質問** 糖業振興について

夏植えの申告状況と推進対

岸へ通じる道路側に転落防止柵等も計画されている。



「周囲の土砂が崩落した排水溝」

**策は。**

**答弁** 9月5日現在の申告状況は、和泊町155ha、知名町242ha、計397haで計画に対し、72%となっている。推進対策としては、各地区の推進員や各字のさとうきび部会を中心に推進しているが、今後とも関係機関が一体

となり推進に取り組み、計画達成に努めていく。

品種別の作付割合は。

答弁 今期の収穫面積に占める品種別割合は、農林8号が57%、農林17号が35%、農林22号が5%、その他が3%となっている。

デトラッシャーの導入計画は。

答弁 有利な補助事業として、「資源リサイクル畜産環境整備事業」で計画し協議を重ねている。現時点の計画では、平成20、21年度の2年間で総事業費約2億5千万円を予定している。

年内操業の可能性は。

答弁 年内操業については、製糖の早期終了による春植、株出しの推進やバレイシヨの早期収穫を始め、町の経済活性化に繋がることから毎回要望が上がっている。操業期決定に当たって、会社側は「操業開始基準」を設けており、

一点目が、11月1日付収穫見込調査において5万5千トンを超えていること。二点目が、糖熟調査の結果、糖度が充分上昇していること。三点目が、



順調な植え付け作業

農家の協力が得られ安定的な操業計画が立つこと。を年内操業の基準としている。

最終的には11月下旬に開催される「両町糖業振興会役員会」において決定される。

質問 輸送野菜について

共販率の向上対策は。

答弁 安心、安全な産地育成のため、2年前からJA園芸振興会がバレイシヨで取り組んでいる「鹿児島農林水

産物認証制度」の認証を受けている。この制度に取り組んだことにより平成17、18年度はJAの当初計画を上回る実績を上げている。

さらに、今年度導入する処理能力の高いバレイシヨ選果機の活用で品質保持と安定的な出荷で有利販売に繋げ、共販率向上に努めていく。

選別機の導入計画は。

答弁 19年度の経営構造対策事業で、日量80トン进行处理可能な大型選別機の導入を計画している。総事業費は、選果場の増築も含め5億8千万円を見込んでいます。

不良品の処理は適正に行われているか。

答弁 JAでは、集荷場の持ち込み時に土落しや、傷いも、青いも等の不良品を混入させないよう徹底した指導を行い、選果能力の向上に努めている。不良品の処理については、他地域の調査も行いながら最良の方法を検討していく。

質問 年金問題について

年金記録に関する町内における問い合わせ状況は。

答弁 資格取得等事業受託をしている国民年金担当窓口にて、これまで年金未納期間照会等約30件の相談があった。

各年代ごとの納付率は。

答弁 平成17年度末の国全



「保健福祉課の年金担当窓口」

体の納付率は66、3%鹿児島県の納付率は66、7%、本町の納付率は54、0%となっている。年代ごとの本町の納付率は、20代30、3%、30代46、1%、40代50、0%、50代64、4%となっている。

未納者への対策は。

答弁 国民年金保険料の徴収事務は、社会保険庁の業務のため市町村では行えない。市町村の行える範囲では、年金制度の周知のため広報し、自発的な納付を促すような対策を講じている。



# 可決された 議案など

平成19年第3回定例会は、9月11日から21日までの11日間にわたって開催され、上程された議案や陳情全てを議決しました。

## 条例

報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正  
職員採用試験委員会を設置し、日額報酬を定めるもの。

海洋療法施設の設置及び管理に関する条例の一部改正  
「タラソおきのえらぶ」に休館日をつけるもの。  
(毎月第一・第四火曜日)

## 予算

平成19年度一般会計補正予算第2号  
ごみ処理施設関連事業公債費に伴う知名町への普通交付

税措置分負担金の増額及び経営構造対策事業費の減額等の予算措置で、予算の総額は59億3642万2千円。

平成19年度国民健康保険特別会計補正予算第2号  
保険給付費、公債費の増額及び総務費、保険施設費の減額等の予算措置で、予算の総額は、11億1415万7千円。

平成19年度老人保健特別会計補正予算第1号  
医療諸費増額等の予算措置で、予算の総額は8億7420万9千円。

平成19年度介護保険特別会計補正予算第2号  
保険給付費、基金積立金の増額等の予算措置で、予算の総額は6億8399万3千円。

平成19年度下水道事業特別会計補正予算第1号  
使用料金システム変更業務委託料の追加に伴う終末処理場維持管理費等の増額の予算措置で、予算の総額は3億7529万円。

平成19年度農業集落排水事業特別会計補正予算第1号

平成19年度農業集落排水事業特別会計補正予算第1号

使用料金システム変更業務委託料の追加に伴う維持管理費等の増額の予算措置で、予算の総額は2億2795万1千円。

平成19年度奨学資金特別会計補正予算第1号  
貸付金及び繰越金の確定による予算措置で、予算の総額は1484万1千円。

## 人事案件

教育委員会委員の任命  
朝戸智子氏(和泊)  
任期満了に伴う再任。

## 採択された陳情

湾門公園への畦布字東側県道への迂回新設道路の早期計画実施を求める陳情書

湾門公園整備が行われる中、現在使用されている道路は幅員が狭く、急カーブ、急勾配等で道路事情は決して良好とは言えない。ワンジョビーチ利用者への安全確保のため迂回新設道路の早期計画実施を求める。



湾門ビーチへの道路

上手々知名字から天神橋間の道路拡幅の早期計画実施を求める陳情書

通学路として利用している和泊小学校西門側の道路は、通行車両が多く幅員も狭いことから、児童の登下校時の安全確保を図るため道路拡幅の早期計画実施を求める。



「多くの児童が利用する通学路」

# 平成18年度 全ての会計決算を認定

平成18年度の一般会計及び特別会計・水道事業会計は決算審査特別委員会に付託審査され、最終本会議で採決の結果認定されました。

## 一般会計

**【歳入】 67億3017万3千円**

(対前年度比 3億7265万5千円増)

(単位：千円、%)

区分	決算額	構成比
町税	530,714	7.9
地方譲与税	140,756	2.1
地方交付税	2,902,502	43.1
分担金及び負担金	45,019	0.7
使用料及び手数料	64,053	1.0
国庫支出金	765,628	11.4
県支出金	345,413	5.1
財産収入	37,837	0.6
繰入金	530,087	7.9
繰越金	137,941	2.0
町債	808,000	12.0
その他	422,223	6.2
合計	6,730,173	100.0

**【歳出】 65億7199万4千円**

(対前年度比 3億5241万8千円増)

(単位：千円、%)

区分	決算額	構成比
議会費	89,134	1.4
総務費	665,999	10.1
民生費	725,604	11.0
衛生費	568,159	8.6
農林水産業費	756,816	11.5
商工費	401,909	6.1
土木費	1,101,791	16.8
消防費	136,750	2.1
教育費	452,871	6.9
災害復旧費	93,480	1.4
公債費	1,017,158	15.5
諸支出金	562,323	8.6
合計	6,571,994	100.0

## 特別会計

**【歳入】 35億628万円**

(対前年度比 3億4210万9千円増)

(単位：千円、%)

区分	決算額	対前年度
国民健康保険特別会計	1,018,692	108.4
老人保健特別会計	863,413	98.3
介護保険特別会計	694,830	109.0
奨学資金特別会計	25,899	71.9
下水道事業特別会計	569,377	132.9
農業集落排水事業特別会計	291,099	147.9
伊延港ふ頭用地造成事業特別会計	42,970	90.8
合計	3,506,280	110.8

## 水道事業会計

(単位：千円)

区分	総収益	総費用	純利益
水道事業会計	177,399	157,127	27,272



「町営住宅 永嶺団地」 -H19.3完成-

# 生の議会を体験

1子ども議会

平成19年8月6日(月)  
午前9時開会

第11回子ども議会が、8月6日(月)町議会議事堂で行われました。  
武 健湧君(城ヶ丘中学校3年)を議長に和泊中学校・城ヶ丘中学校の3年生9人が議員として一般質問を行いました。財政問題や環境対策、商店街の活性化等中学生の目線で多岐にわたり現状を訴えました。次代を担う子ども議員の質問に、担当課長も本会議同様真剣に答えていました。また、傍聴席では両校の先生方や生徒約40人が熱心に模擬議会に耳を傾けていました。

## 【質問議員とその概要】

議員はすべて3年生

氏名	学校名	質問の概要
加納佐希子	和泊中	和泊町の財政について。 ・財政破綻を避けるための長期的プランは？
平 眞優	城ヶ丘中	ゴミのポイ捨て対策について。 ・路上へのゴミ箱設置や看板による啓発はどうか。
宮原 志保	和泊中	児童福祉事業について。 ・予算の使途は？保育士の採用を多くできないか。
大江 祐輔	城ヶ丘中	和泊町の農業の振興について。 ・農家戸数を維持していくための方策は？
南 ありさ	和泊中	電線の地中化について。 ・防災や景観面から電柱の地中化を検討できないか？
松村 翔	城ヶ丘中	災害時の高齢者に対する安全対策について。 ・安全確保対策と、防災無線の全家庭への普及は？
撰 雅之	和泊中	学校間の交流事業について。 ・他校との体験交流の実施を検討してほしい。
小山 知里	城ヶ丘中	商店街の活性化について。 ・駐車場整備と、関連事業の実施等の活性化対策は？
大野真之介	和泊中	町の街灯について。 ・街灯の青色灯への変更理由と犯罪発生率の変化は？

## 武 健湧議長の感想



「武 健湧議長」

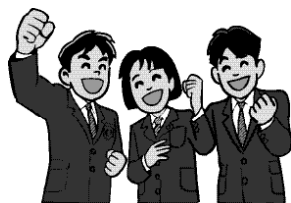
たと思います。

リハーサルの日にみんなよりも高い位置にあるいすに座ったとき、テレビで見たより高く、とても緊張してしまいました。

家で、本番で上がらないように何回も何回も読み直し練習をしました。そして、今日皆さんのご協力により、スムーズに会を進め終えることができました。そこで、中学生が町に質問し町はそれに答弁し、それを見ていて僕たちも大人も自分たちの町を良くしようとするのは一緒だということがわかりました。また来年も、その次の年も子ども議会を開いていただき、もっと良い和泊町にしてみたいです。

改めまして、町長をはじめ関係者の皆さん、今日はこのような場を設けて下さりありがとうございました。

今日はこのような機会を開いて下さり、関係者の皆さんどうもありがとうございます。最初は、『僕たちが町をよくするために、町に質問する。』など考えたこともなくとても不安でした。ですが、各学校、各グループで意見を出し合い、考え、和泊町をより良くするために、みんなで頭を使いがんばったと思います。僕は、この議会で議長という大役ができて自分のためになっ



# 子ども議会スナップ



## 表紙の写真

運動会のお遊戯の練習を終えて、大好きな砂遊びをしているところをパチリ! 「こんにちわ、おじちゃんカメラン?」と、とても挨拶が上手で人なつっこいお友達ばかり。男児15名、女児13名の計28名が、2人の優しい先生と毎日楽しく過ごしています。

一大城子ども園幼児部一

## 編集後記

21世紀も早8年が過ぎ去るつとして  
います。20世紀は、経済優先の追求  
で争いの時代とも言われました。  
今世紀は、高度情報化また高度循環  
型(リサイクル)等の世紀とも言わ  
れます。そうした先行き不透明な時  
代とも言われる中、どのような時代  
になっていくのでしょうか。

先日、京セラ名誉会長の稲盛和夫  
先生は「敬天愛人の生き方」と題す  
る講演の中で、「人は何のためにどの  
ように生きるのか、人生はどのよう  
になっているのか、自我(エゴ)の  
心を捨て西郷南洲翁の心を大切に。」  
と話されました。

さて、本町の9月議会も審議を尽く  
し、上程された議案全てを可決しま  
したが、依然として厳しい財政運営  
となっています。今後は、町民の皆  
様が日常において全てを行政に頼る  
ことなく、自分でできることは自分  
で実行するよう心がけることも大事  
です。議会に対する皆さんのご意見  
をお待ちしています。

(文責 東 武和)

議長 前田 力  
議会報編集委員  
委員長 東 武和  
副委員長 谷山健一郎  
委員 山下 幸秀  
同 赤山 俊彦